

中部支部総会で祝辞を述べる深谷友尋会長



総会後の懇親パーティーはなごやかに

中部支部総会

「ビジネスモデルの確立を」 山口悟支部長以下全役員留任

日遊協中部支部は5月21日、名古屋グランドパレスで平成25年総会を開いた。冒頭、山口悟支部長があいさつし「日本経済はまだ厳しい状況が続く、遊技業界も若者離れが深刻になっている。一方、ファンアンケートでは半数以上の人々が生活上の楽しみとしていることを十分に理解し、業界は代表的な大衆娯楽として歩み続けなければならぬ。人作りも含めてビジネスモデルの確立を追求していこう」と強調した。

来賓として、中部管区警察局広域調整部広域調整第一課の長尾文則調査官をはじめ、愛遊協・森山定幸理事長、中部遊商・安藤利彦理事長、日遊協中部支部・小野金夫相談役が祝辞を述べた。

深谷会長「安心安全な産業へ」
同じ来賓の深谷友尋日遊協会長は「産業界の危機にあたって日遊協は遊技産業活性化プロジェクトを立ち上げ副会長を中心に具体的な対策を練り上げている。低射幸性への流れを数字が表わしている



中部支部総会で冒頭のあいさつをする山口悟支部長

現状で、大衆娯楽としてハネモノを中心に新たな遊技機の展開を考えている。世間に対するPR、消費税対策なども含めて安心安全な産業を構築していく」とあいさつした。

神保重孝副支部長を増員
山口支部長を議長として審議に入り、3つの議案を承認した。2

年の任期満了に伴い役員改選が行われ、山口悟支部長以下役員全員が留任し、新たに中部遊商の神保重孝理事が副支部長に就任した。平成24年度支部活動報告、平成25年度中部支部活動計画も合わせて承認された。

山本耕治課長補佐が講話

第2部はセミナーが開かれ、はじめに愛知県警察本部生活安全全部保安課の山本耕治課長補佐が「遊技業界の健全化について」と題して講話を行った。株式会社プロパジヨイの松崎史成執行役員部長が「トラック型からリング型の競争に変化した今、必要とされる『人材力』とは」と題して講演し、日遊協の篠原弘志専務理事が「風営

法の当面の諸問題について」スピーチした。

第3部として懇親パーティーが開かれ、総会参加の会員はじめ来賓の方々が、にぎやかに懇談した。

東京都・関東支部役員会

セキユリティー対策部会 支部として「新設」決める

東京都・関東支部役員会が5月24日、日遊協本部会議室で開かれセキユリティー対策部会の新設を決めた。支部単位のセキユリティー対策としては、現在、中部、近畿の2支部に対策部会が設置され、中部支部は隔月、近畿支部は毎月開催してゴト情報や対策を共有し、効果を上げている。

このほか25年度の支部事業計画として、既に5月に「仙台共生の森」の植林に参加したほか、9月24～27日の皇居勤労奉仕活動、10月25日のチャリティーゴルフコンペ等を承認した。

平成24年度末の支部会員数は162社。同年度は新規会員12社を獲得したが、退会もあって最終的には6社増だった。25年度は会員の新規獲得とともに継続維持活動の推進を申し合わせた。

リカバリーサポート・ネットワーク

新しい支援体制に各団体が形式選ぶ

特定非営利活動法人リカバリーサポート・ネットワーク（RSN）への支援体制を、パチンコ・パチスロ産業21世紀会一括から個々の団体へと切り替えるため、21世紀会を構成する14団体は5月10日付で「ばちんこ依存問題対策に関する覚書」に押印した。

覚書の要旨は、「パチンコ・パチスロが『身近で手軽な大衆娯楽』であり続けるためには依存問題解決の支援は重要な取組みであり、遊技業としての社会的損失やイメージダウンを防止するとともに、社会的責任及び消費者サービスの観点から問題解決の一助となることを目的に、依存問題についての相談、啓発、予防等を行っているRSNの活動を支援する。そのため、21世紀会を構成する団体内における覚書を作成する」としている。

14団体の支援総額を年間2800万円とする。このうち認証協、PSAの負担を各15万円とし、残り2770万円について折半した

各団体が形式選ぶ

1385万円ずつをホール5団体（全日遊連、日遊協、同友会、余暇進、PCSA）と全機連7団体（日工組、日電協、全商協、回胴遊商、自工会、補給組合、メダル工業会）でそれぞれ負担することとし、団体個々の負担額はそれぞれが所属する組織で協議し決める。支援形式は、①寄付、助成 ②RSNの会員規定に則った会費の納入 ③業務委託契約——の3種類を、各団体が内部事情に見合った形で選ぶ。日遊協は会費形式で年間42万円を負担する予定。

従来は、21世紀会とRSNが業務委託契約を結び、それに基づいてRSNが相談業務を行っていたが、税法上収益事業と見なされて課税対象になることから、RSNから21世紀会に業務委託契約ではない形にしてほしいとの依頼があり、役員4団体（全日遊連、日遊協、日工組、日電協）で事務協議を重ねて今回の成案となった。なお、これに伴い21世紀会は従

来RSNと交わしていた業務委託契約を、6月30日の契約満了を機に再契約しない。

遊技業界データベース 日遊協ホームページに開設

日遊協広報調査委員会は、5月29日から遊技業界に関する様々なデータを集めた「遊技業界データベース」をHP上に開設した。公的機関をはじめ各方面から発表されている業界関連データのポータルサイトの新たな役割を果たしたいとし、また広く一般の人々にも業界理解を深めてもらえるようにデー

タの説明なども加えている。

「収録データの一部」

- ▼パチンコ営業所数、遊技機設置台数（警察庁）
- ▼パチンコホールの売上高、設置台数、従業者数及び事業所数（経済産業省）
- ▼パチンコ産業合同説明会アンケート結果（日遊協）
- ▼貯玉補償基金加盟状況（貯玉補償基金）
- ▼パチンコ景気動向指数（DI）調査（エンタテインメントビジネス総合研究所）

日遊協 ホームページ 更新情報

「遊技業界データベース」掲載開始

協会活動 仙台共生の森 植林ボランティア実施

協会活動 東北ボランティア隊が南三陸町で活動

Copyright © 2013 Nichyukyo. All Rights Reserved.

「日遊協」で検索!



白石隊長(前列右から2人目)を囲んで、やる気十分のボランティア隊



東京都・関東&九州支部ボランティア隊 生徒さんらと海浜整備備大仕事で 大汗かく

▽日時 5月17日〜19日

▽場所 宮城県本吉郡南三陸町

▽隊員 隊長・白石良二(日遊協ボランティア隊長)、副隊長・知念安光(社会貢献・環境対策委員会担当理事)、隊員・富田麻里花、押尾久美子(株)ヒノックス、大木慎一、高橋宏充、五十嵐拓、田中雅晃(株)千歳観光)、城戸正義、佐藤慎治、小池尚央、町田美紗恵(株)安田屋)、有川裕之(九州ボランティア隊長)、八坂真吾(九州ボランティア副隊長)、有川勝紀(株)ジーピーエム)、池田修司(株)九州エース電研)、北島俊和(九州支部事務所長)

▽作業 海水浴海岸整備、養殖ホタテ引き揚げ、ワカメ加工補助

仙台地区での植林活動を終了した東京・関東支部ボランティア隊及び九州支部ボランティア隊17名は5月7日、車両3台で南三陸町に向かいました。復興が遅れている南三陸町支援は、昨年度から日遊協ボランティア隊の重点派遣先に指定され、これまで東京・関東支部は8回延べ61名、九州支部は1回30名を派遣して、民家のガレキの撤去・清掃、被災者仮設住宅での炊き出し及びワカメ加工作業等に従事しています。

目的は南三陸町へは、白石隊長はじめ道路事情等に詳しい隊員も多く日没前には到着しました。翌日早朝から南三陸町歌津地区(海岸地区)で3班に分かれ従事しました。

第1班海水浴整備班は、津波から3年目の今夏7月15日の海開きを前に、東北の子供たちが裸足で歩ける砂浜の整備のため、他県からのボランティア隊をはじめ地元の小・中・女子高校生も参加し、ガラス破片、木片等を撤去しました。特に若手中心の日遊協班は大木、金属類の掘り起こしなど力作業を依頼され、大粒の汗を流しながら取り組みました。

ホタテやワカメ作業も

第2班は小舟に乗船して養殖ホタテ貝を海中から引き上げる作業に従事しました。ライフジャケットを着用しての作業は初の体験。波にゆられ、海水を浴びるなどの苦闘にもめげず、網に入った重たいホタテ貝を舟上に引き上げて作業小屋に運搬しました。

第3班のワカメ加工補助班は、水揚げされたワカメを50g単位に切断、ビニール袋に入れ、シールを貼る作業です、時間に余裕がなく昼食もそこそこに合計683個を加工しました。このワカメは東北生産品購入支援の一環として、全てを九州支部会員に購入を呼び掛けることになっています。

私たちが東北でボランティア活動に取り組むなか、被災地でも特に漁業関連の復興はまだまだ遅れていることを体感しており、今後継続した支援の必要性を痛感しました。(北島俊和)

不正対策室会議

前年並みの入力情報

不正対策室会議(室長・伊東慎吾日遊協常務理事)は5月13日、日遊協本部会議室で開かれPSIO(不正対策情報機構)への入力状況の報告を行い、委員など15人がゴト・不正情報について検討した。4月のPSIOオープンネット(業界及び一般ファンからの不正情報)は、業界から38件、一般ファンから612件の入力があった。一般ファンの入力は、昨年4月と比べると19件(昨年4月631件)減っているが、ほぼ変わらない入力状況と言える。ゴトでは、パチンコの玉掛かり、玉持ち込みなどローテクゴト中心となっている。不正情報では、遊技機の不審な動きと店員の対応への不信などの入力相変わらず多く、広告関連の指摘も無視できないことが報告された。

「信長」創世」撤去を要請

（株）ニューギン 不具合発生で

日遊協は5月14日、ホール会員に向けて「回胴式遊技機の不具合における稼働停止並びに撤去について」と題する要請文を発信した。

問題の遊技機は（株）ニューギン製回胴式遊技機「パチスロ信長の野望」天下創世」J」で、画像表示が停止する不具合が発生した。同社は原因究明を行なったが完全な不具合解消方法が見いだせないことから、5月11日、設置ホールに対し当該機種についての速やかな稼働停止並びにできる限り早急な撤去を要請した。さらに日遊協等ホール関係団体に対しても同様の要請文を送った。

日遊協も対応文書

同社の調べでは、当該機種は5月6日時点で全国に1万2042台設置されている。日遊協はホール会員に対し、「ホールはファンに『安心・安全・公正』な遊技を提供する立場にあり、不具合がある機種の稼働は避けなければなら

ない」として、同社の要請に従うよう呼びかけた。

同社は、撤去することによる機械代金について返金に依るほか、返却運賃についても負担する。また、稼働停止から撤去までの期間の営業補償（6月2日まで）について、20円貸し営業で1日あたり1台7000円×停止日数、20円貸し以外の低貸し営業で1日あたり1台3000円×停止日数を補償するとしている。

中古機流通を中止

（株）ニューギンが同社製回胴式遊技機「パチスロ信長の野望」天下創世」J」を回収することに伴い、日工組は5月21日、中古機流通協議会宛てに当該機種の中古機流通を今後一切中止するよう要請した。これを受けて同協議会は構成団体間で協議し、同月24日、当該機種の中古機流通差し止め決定を各構成団体に通知するとともに、それぞれの組合員への速やかな周知徹

底を要請した。

貯玉補償基金理事会

平成24年度決算を承認

一般社団法人貯玉補償基金（代表理事・深谷友尋日遊協会長）は5月15日、日遊協本部会議室で第48回理事会を開いた。議案として第7期（平成24年4月1日～平成25年3月31日）事業報告及び計算書類の件が審議された。

事業報告としては、①平成25年3月末で加盟ホール数が5224店となり、昨年同月比で429店増となったこと、②企業破たんに



3、4月の掲載枚数などが報告されたパチンコインターネット広告協議会

よる貯玉補償は3法人3店舗、東日本大震災による被災4法人6店舗の補償も終了し、新たに福島第一原発立入禁止区域の2法人3店舗の補償を実施中であることなどが説明され、計算書類としては貸借対照表、損益計算書、未収入金・受託金内訳表、事業収益内訳表、計算書類に係る付属明細表が示され、本議案は承認された。

報告事項として「貯玉補償基金加盟状況」「資金運用状況及び資金運用継続」「貯玉保有状況」「貯玉/貯メダル再プレー実施状況推移」などがあった。

インターネット広告協議会

アプリの改修で協議

パチンコインターネット広告協議会（日遊協、凸版印刷（株）、IMC（株）で構成）が5月10日、日遊協本部会議室で開かれた。「パチンコのチラシ Powered by Shufool」の3、4月の掲載枚数が報告された。3月3076枚、4月2995枚と、ほぼ横ばいで推移した。両月の警告件数は144件（再入校134件、キャンセル10件）、嚴重注意が1585件だった。

凸版印刷側から、利用価値の向

上のために「パチンコのチラシ」アプリの改修を検討中との報告があった。内容は、「お知らせあり」の告知機能や、ホール側から情報

発信できる機能などをつけるものだが、「ガイドライン」に抵触しないように検討結果を慎重に見守ることになった。

リサイクル推進委員会

改訂案を提示、検討へ

業者の選定要綱・選定基準

第64回遊技機リサイクル推進委員会（座長・篠原弘志日遊協専務理事）が5月27日、日工組会議室で開かれた。遊技機リサイクル業者選定要綱、遊技機リサイクル業者の選定基準等についての改訂案が提示された。加盟6団体（日遊協、全日遊連、日工組、全商協、日電協、回胴遊商）から個別に出された改訂案を事務局がまとめたもの。各団体が持ち帰って改めて精査し、次回の会合（7月19日）で完成したいとしている。

棄物処分業許可証等の必要な許認可資格の証明」など3点、「管理体制」の項で「遊技機の各処理過程にあつて、製造番号等による管理が確実に行われていること」など5点をそれぞれ確認するように求めている。

改訂案を見ると、選定要綱では、例えば、第7条（更新）で「選定証の有効期間は発行日より5年間」と明記し、申請等、取り消し等、選定の抹消などの項目で追加、新設が行われている。選定基準では、「業者の信頼性」の項で「産業廃

店長・管理職講習・試験
9月27日大阪市で
日遊協は、9月27日に大阪市で行う店長・管理職能力開発講習・試験の受講・受験希望者を募集している。

店長・管理職能力開発講習・試験は、ホールの店長や店長候補者、メーカー、設備機器等の管理職の方々を対象に、日遊協が関係団体の協力を得て行っている。主な講義は、業界の現状と将来展望、管

理能力、マーケティング戦略、コンプライアンス、風営法等で、業界の健全な経営に資する心構え・知識・技能等を身につけて、リーダーとして育ってもらえる内容となっている。講師陣は日遊協会員

企業の経営幹部、管理職で構成されている。日遊協会員以外の企業からの受講・受験も歓迎する。会場によっては人事担当者等オプザーバーの傍聴も許可されている。

9月27日（金）

難波市民学習センター

午前10時開始、午後5時半終了。受講・受験料は日遊協会員1万7200円、会員以外2万2450円。希望者は申込用紙に記入して日遊協事務局に申し込む。申込用紙は日遊協ホームページ、または「講習」チラシのFAX申込書で取り寄せられる。定員に達すると締め切る。

日遊協ホームページ

<http://www.nichiyukyo.or.jp/>

店長必読!
マネジメント

管理能力 開発講座

遊技産業界のリーダー育成のために
店長・マネージャーが学ぶ、実践する

2013年改訂



社団法人 日本遊技関連事業協会

「管理能力開発講座」表紙

日遊協事務局

電話 03・3553・4333(代)

FAX 03・3553・4334

「管理能力開発講座」改訂

店長・管理職能力開発講習・試験に使われるテキスト「管理能力開発講座」の2013年改訂版（写真）が5月16日発行された。初版は2011年7月に発行されている。

おもな改訂箇所は、①ハラスメント項目の追加 ②法令関係（風営法、労働法、暴対法）の更新 ③遊技機の設置・入替の項目追加 ④業界データなどの資料の追加・更新 ⑤各種説明の追加——等となっている。

252ページ。頒価3000円（税込み）。

船井総研が「参加人口白書」発表

約1660万人がプレー
3万人をインターネット調査

(株)船井総合研究所は5月21日、全国約3万人を対象に調査した「パチンコ&パチスロ参加人口白書2013」(第1回)を発表した。全

都道府県からインターネットで抽出した18歳から69歳の男女について、3月28日～4月1日にインターネット調査を実施、2万9723サンプルを回収した。サンプルは男女別に18～20代、30代、40代、50代、60代にわたり、各「性・年代」(例、男性・30代)のサンプル

数はいずれも3000サンプル前後ではほぼ均等化している。

遊技人口は増えている

データは、「参加人口」(3か月に1回以上プレー)、「ご無沙汰ユーザー」(1年に1回以上プレー)、「休眠層」(プレーをやめたが機会があればプレーしたいと回答)の3種類に区分し、各推計数は、回答発生率を総務省発表の年代別人口に掛け合わせて行った。

「参加人口」はパチンコ992・7万人、パチスロ697・1万人だった。参考として過去2年間に同一フレームで行った調査結果と比べたところ、パチンコ、パチスロとも「参加人口」がやや増加する結果となった。(表1)

休眠入れれば3800万人

また、「参加人口」に関してパチンコ、パチスロそれぞれの重複人口と重複率を調べたところ、パチンコ人口の63・4%(629万人)がパチスロと重複、パチスロ人口

の90・3%がパチンコと重複しており、従来のように「パチンコ派」「パチスロ派」と区別するよりも、「パチンコ&パチスロ掛け持ちスタイル」の市場となっていることがわかった。(表2)

表1に「ご無沙汰ユーザー」を加えると、パチンコ1360・3万人、パチスロ936・2万人とともに1・3倍にふくれ上がり、同総研は「これが繁忙期商戦の売上増の要因となっているのではなか」と分析している。さらに、「休眠層」を加えると、パチンコ2250・2万人、パチスロ1571・7万人となり、参加人口の2倍以上の潜在能力となることがわかった。(表3)

男性35～39歳が中心

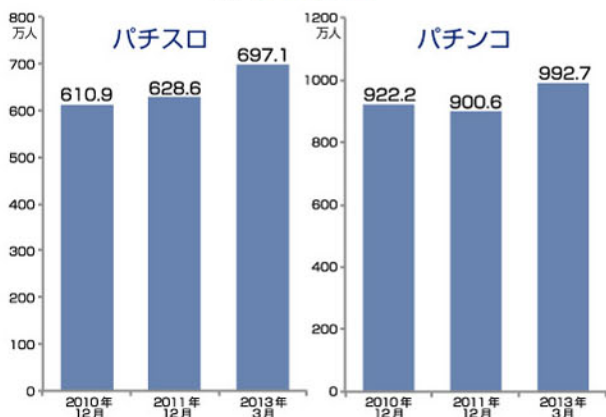
「参加人口」を5歳刻みで調べてみると、パチンコの場合、男性では35～39歳が参加人口90・3万人で最も多く、「ご無沙汰ユーザー」も32・5万人いる。ここを含めた30～49歳の男性サラリーマン世代が最もポテンシャルが高いといえる。また、女性の「参加人口」は25～29歳の30・9万人を筆頭にその前後の世代層が多かった。(表4)

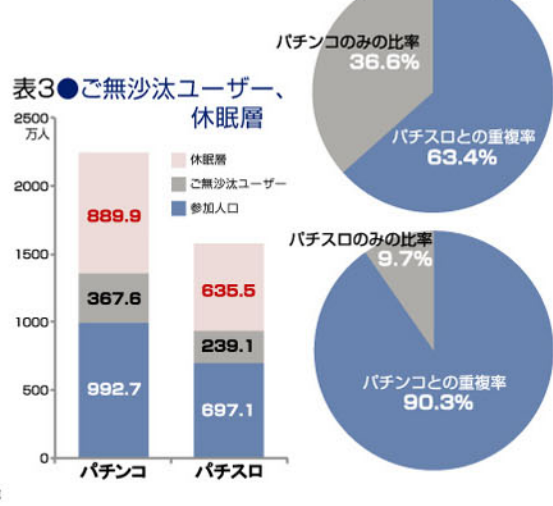
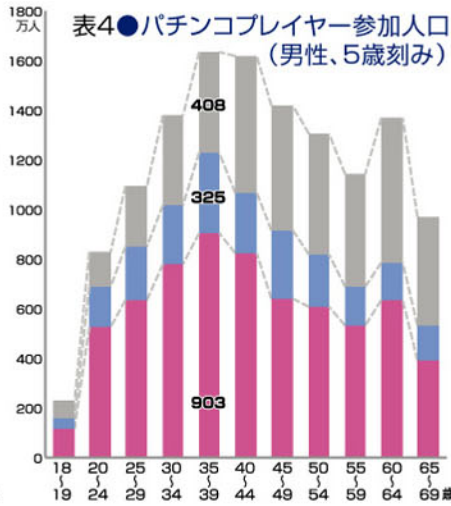
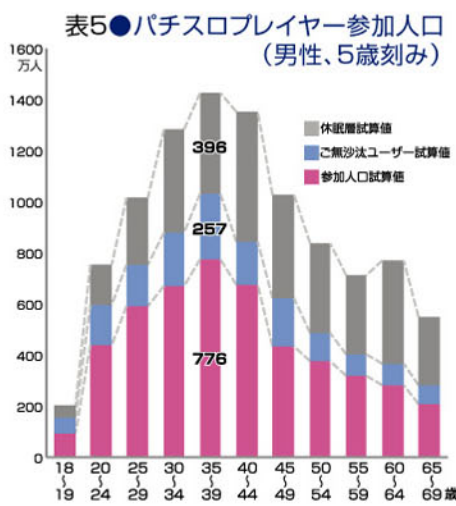
一方、パチスロも男性は35～39歳が「参加人口」77・6万人で最も多く、その前後の年齢層を含めた30～44歳が高ポテンシャル層といえる。さらに男性では40代以降に「休眠層」が増えていることがわかった。(表5)

パチンコ、パチスロとも男性35～39歳がボリュームゾーンであり、この世代層が遊びやすいコーナーをつくること、離脱防止に気を配ることが重要ではないかと分析している。

エリア別にパチンコ「参加人口」と参加率を見たところ、首都圏は「参加人口」270万人と全体の30%弱を占め、「ご無沙汰ユーザー」「休眠層」を合わせてもダントツに多かった。しかし、人口あたりの参加率では九州/沖縄10・6%を筆頭に東海、東北が高く、首都圏は比較的低い。これに「ご無沙汰ユーザー」比率、「休眠層」比率も加えた「民力」で見ると北海道九州/沖縄、東海の順で高い結果が出た。一方、パチスロでも「参加人口」は首都圏が群を抜いて多く、193万人と全体の28%を占めたが、「民力」では九州/沖縄、北海道、東海の順に高く、パチンコとほぼ同様の結果となった。

表1●参加人口





新理事長に金沢全求氏

日本遊技機工業組合



日本遊技機工業組合(日工組)は5月29日、東京・大手町のKRホテル東京で通常総会を開いた。役員改選で、代表理事・理事長に金沢全求副理事長(写真)が、副理事長には筒井公久(新任)、榎本善紀(昇任)、井上孝司(新任)の3氏がそれぞれ選任された。市原高明代表理事・理事長は相談役に退いた。

た。自工会としては25周年の節目での一般社団法人移行となる。

日本遊技産業経営者同友会

松田代表理事ら再任

一般社団法人日本遊技産業経営者同友会は5月15日、東京・上野のラ・ベルオーラムで総会を開き、12年度の事業報告および決算報告、13年度の事業計画案及び収支予算案を承認した。執行部人事では、松田高志代表理事、5人の副代表理事を全員再任した。

一般社団法人に移行

遊技場自動サービス機工業会

遊技場自動サービス機工業会(自工会)は5月16日、東京・新橋の第一ホテル東京で通常総会を開き、平成25年度事業計画案(会員の機器等に関するセキュリティの研究開発促進等)を承認するとともに、一般社団法人への移行を可決承認した。引き続き一般社団法人の設立総会が開かれ、役員が承認され



代表理事に金本朝樹氏

パチンコ・チェーンストア協会

一般社団法人パチンコ・チェーンストア協会(PCSA)は5月24日、東京・銀座の銀座フェニックスプラザで定時社員総会を開いた。任期満了に伴う役員改選で、代表理事に(株)アメリテイズの金本朝樹氏(写真)、副代表理事に佐藤公平(前代表理事)

事)、平林伸一、斉藤周平の3氏をそれぞれ選任した。

笠井聰夫氏が代表理事に

余暇環境整備推進協議会



一般社団法人余暇環境整備推進協議会(余暇進)は5月22日、ホテルイ

ンターコンチネンタル東京ベイで定時社員総会を開き、平成24年度事業報告、25年度事業計画等を承認した。任期満了に伴う役員改選では、宮脇福介氏の代表理事退任に伴い、笠井聰夫氏(写真)が新しい代表理事に選任された。

伊豆正則理事長が5期目

回胴式遊技機商業協同組合

回胴式遊技機商業協同組合(回胴遊商)は5月28日、東京ドームホテルで通常総代会を開いた。任期満了に伴う役員改選で、伊豆正則理事長が再任された。伊豆氏は5期目となる。筆頭副理事長を含む副理事長は6人体制から4人体制に、理事は20人体制から15人体制になった。

個別のゴトを詳しく 全商協、回胴遊商も参加

ゴト対策に関する4団体会議が5月17日、東京市ヶ谷の遊技会館で開かれ、日遊協、全日遊連、日工組、日電協の委員、オブザーバーなど44人が出席した。

情報の共有化のために、パチンコ・パチスロの「製造メーカー別一覧」「個別のゴト事例」の資料が提出され、質問や意見交換が行われた。個別のゴトについては、特にパチスロに関して個々のゴトの詳しい分析が示され、コマンド異常監視についても検討された。

この日の会議から全商協（4人）、回胴遊商（2人）がオブザーバーとして参加した。両団体は情報を求めて参加を決めたが、ホール側からも両団体に情報の提供を積極的に行うよう呼びかけた。

警察庁と勉強会開く

ホール5団体消費税対応W

警察庁担当官とホール5団体消費税対応ワーキングの各団体代表メンバーとの消費税勉強会が5月9日開かれ、5団体側から消費税対応ワーキングの検討経過を報告したあと、フリートワーキングで意見交換を行った。

警察人事

茨城県警人事（3月13日）退職（生安部長）

綿引昭▽生活安全全部長（組対統括官兼正安部付）小川秀夫▽生活安全全部参事官兼生活安全総務課長（少年課長）風見和幸▽退職

（参事官兼生安総務課長）海老澤恵一

熊本県警人事（3月19日）退職（生安部長）

岡正憲▽生活安全全部長（参事官〓生安企画・少年兼生安企画課長）浦次省三▽生活安全

部理事官兼生活環境課長（吉北署長）春野

慎治▽山鹿署長（生環課長）北野陽祐

宮崎県警人事（3月21日）生活環境課長（生

安部統括官）荒武卓▽串間署長（生環課長）

白田欣弥

山梨県警人事（3月21日）交通部長（生安

部長）宮崎清▽生活安全全部長（生安部参事

官）古屋一栄

和歌山県警人事（3月21日）生活安全全部参

事官・生活安全企画課長（新宮署長）西

村俊彦▽交通部参事官・交通企画課長（参

事官・生安企画課長）丹羽邦男

島根県警人事（3月22日）辞職（生安部長）

伊藤尚機▽生活安全全部長（雲南署長）扇畑

隆吉▽生活安全全部参事官・生活安全企画課

長（少年女性対策課長）鬼村純▽益田署

長（参事官・生安企画課長）榊原優二

香川県警人事（3月22日）警備部長（生安

部長）松本征司▽生活安全全部長（参事官兼

首席監察官）井上庄司▽（3月31日）退職

（参事官兼生安企画課長）亀井英明▽生

活安全部参事官兼生活安全企画課長（小

豆署長）天野行哲

鹿児島県警人事（3月22日）退職（生安部

長）満留誠▽生活安全全部長（警備部長）仙

名節男

宮城県警人事（3月24日）退職（生安部長）

阿部茂▽生活安全全部長（参事官兼総務課長）

田原一成▽生活環境課長兼サイバー犯罪対

策室長（監察課監察官心得兼組対課管理官）

針生啓司▽気仙沼署長（生環課長兼サイバ

ー犯罪対策室長）千葉泰忍

三重県警人事（3月25日）辞職（生安部長）

福島隆司▽生活安全全部長（中部管区局）柏

尾泰宏▽生活安全全部首席参事官〓生活安全

企画課長・犯罪抑止対策課長（参事官〓組

対課長）小林一夫▽交通部首席参事官〓交

通企画課長（首席参事官〓生安企画課長・

犯罪抑止対策課長）永戸吉朋

福井県警人事（3月25日）生活安全全部長（参

事官兼首席監察官）荒井善夫▽福井署長（生

安部長）辻崎俊徳

長崎県警人事（3月25日）生活安全全部参事

官兼生活安全企画課長（参事官兼監察課長）

梅本久美彦▽諫早署長（参事官兼生安企画

課長）竹口将男

愛知県警人事（3月25日）総務部長（生安

部長）神谷満寿穂▽生活安全全部長（地域部

長）荒井正道

北海道警人事（3月25日）旭川方面本部長

（生安部長）長澤毅▽生活安全全部長（北署

長）渡部武夫▽北見署長（保安課長）山崎

明▽保安課長（砂川署長）寺嶋正晴▽生活

安全特捜隊長（北本生安課長）松岡彰憲▽

旭川方面本部生活安全課長（興部署長）渡

邊郁夫▽釧路方面本部生活安全課長（旭本

理事官）上原一宏▽北見方面本部生活安全

課長（羽幌署長）一森則雄▽八雲署長（釧

本生安課長）手塚謙司▽紋別署長（旭本生

安課長）及川政彦▽（4月1日）生活安全

部管理官（函本生安課長）浅田和則▽函館

方面本部生活安全課長（警察庁）岡本茂樹

福島県警人事（3月26日）退職（生安部長）

緑川静▽生活安全全部長（首席監察官）平野

亨▽生活環境課長（生安企画課調査官兼次

席）武藤裕紀▽猪苗代署長（生環課長）横

田雄也

大阪府警人事（3月26日）保安課長（西淀

川署長）愛甲哲也▽天王寺署長（保安課長）

井谷隆雄

高知県警人事（3月26日）生活環境課長（宿

毛署長）武政泰世▽組織犯罪対策課長（生

環課長）中内典明▽（4月1日）生活安全

部長（参事官兼首席監察官）前田和秀▽刑

事部長（生安部長）北村明彦

大分県警人事（3月26日）生活安全全部長（参

事官兼首席監察官）中島幹男▽大分中央署

長（生安部長）郷司友三郎

沖縄県警人事（3月27日）警務部付・辞職

（生安部長）前泊良昌▽生活安全全部長（参

事官兼首席監察官）親川啓和▽生活安全全部

参事官兼生活安全企画課長（浦添署長）

並里博▽交通部参事官兼交通企画課長（参

事官兼生安企画課長）梶原芳也

石川県警人事（3月29日）警察学校校長（首

席参事官兼生安企画課長）島崎賢之進▽生

活安全部首席参事官兼生活安全企画課長（羽

咋署長）森淳也

静岡県警人事（4月1日）生活安全全部長（学

校長）守屋彦太▽静岡中央署長（生安部長）

大島典之▽保安課長（情管課長）谷淵晃▽

袋井署長（保安課長）大石順二

愛知ゴト情報対策協議会

ローゴトなど報告、協議

愛知県ゴト情報対策協議会が4月10日、愛知県遊協役員室で開かれ、日遊協から山口悟支部長以下7名、愛遊協からは7名をはじめ岐阜県遊協、三重県遊協の参加も得て17人が出席した。パチンコにおけるローゴトの多発、その具体例など各種情報の報告に基づいて協議した。

新規入会

●新規入会（正会員）

▼株式会社トリニティ

代表取締役・白水健司
福岡市博多区半道橋1・12・15
00万円。役員7名、従業員6名、アルバイト3名。回胴遊商、九州遊商加盟。（推薦人・九州支部長 樋口益次郎）

▼株式会社パロット販売

代表取締役・笠松義清
大阪市浪速区元町1・12・16
グロリアル難波1F
00万円。平成6年設立。資本金100万円。従業員12名。回胴遊商、関西遊商加盟。（推薦人・近畿支部長 福井章）

▼株式会社オムコ

代表取締役社長・大村年央
東京都台東区東上野7・6・5
上野KYビル7F
00万円。平成17年設立。資本金100万円。役員5名。従業員46名、アルバイト2名。PCSA、回胴遊商、東遊商、九遊商加盟。（推薦人・専務理事 篠原弘志）

●新規入会（賛助会員）

▼アンダーツリー株式会社
（マル特会員）

代表取締役・木下春雄

大阪市西区西本町1・2・8
ホール。昭和59年設立。資本金9095万円。役員6名、従業員535名、アルバイト1135名。全日遊連加盟。（推薦人・株式会社大商 國澤良幸）

▼オリックス株式会社

代表取締役社長・井上亮
東京都港区浜松町2・4・1
多角的金融サービス業。昭和39年設立。役員13名、従業員2700名、アルバイト50名。（推薦人・近畿支部長 福井章）

▼株式会社

スタッフ・コーポレーション
代表取締役・石井孝志
東京都港区芝大門2・8・13
サクセス芝大門ビル8F
コンサルティング業（ゴト対策等）。平成14年設立。資本金1000万円。役員3名、従業員20名。（推薦人・東京都・関東支部長 庄司孝輝）

会員・業界消息

●代表者・住所変更

▼フシミコーポレーション株式会社
代表取締役会長兼社長・深谷友尋
名古屋瑞穂区雁道町3・18
TEL052・883・8141
FAX052・883・8142

●住所変更

▼フロンヴィルテクノ株式会社
名古屋瑞穂区雁道町3・18
TEL052・883・8146
FAX052・883・8147

●代表者変更

▼有限会社公衆
代表取締役・山田栄作
平成21年7月19日
▼有限会社アイム

代表取締役・加藤直樹

3月1日

▼JCMシステムズ株式会社
代表取締役社長・吉村泰彦
4月1日

▼株式会社アムテックス
代表取締役・石井義郎
4月1日

▼株式会社竹屋
代表取締役社長・梁川誠市
5月

▼社名変更

▼サントリービレッジサービス株式会社

DATASPOOT

店舗減少が前月比では小休止

全日遊連は5月24日、店舗数、遊技機台数の2013年4月分を発表した。店舗数は前月比で3店増え、今年に入って3か月で88店舗減っていたが、少し歯止めがかかった。1万1093の店舗数は、昨年4月（1万1269店）と比べて、この1年間で176店マイナスで減少ペースは変わっていない。

遊技機では、パチンコが1年間でマイナス4万8145台（昨年4月283万8019台）と下がり続け、一方パチスロ機はプラス6万9591台（昨年4月138万5142台）と上昇している。パチスロは、今月も一昨年4月から25か月連続で前月比増を続けている。

<注>店舗数、及び遊技機台数は各月の末日現在の数。表中の「その他」はアレンジボール、じゃん球、スマートボールを意味する。

貯玉補償基金加盟状況

	店舗数	前月比
北海道	238	+2
東北	535	+7
東京	562	+16
関東	1576	+17
中部	482	+10
近畿	864	+12
中国	284	0
四国	145	0
九州	612	+10
全国計	5298	+74

(2013年4月30日現在)

全日遊連加盟店舗数・遊技機台数

平成25年	営業店舗数	新規店舗数	廃業店舗数	休業店舗数 (当月発生分)	遊技機台数			総台数
					ぱちんこ遊技機	回胴式遊技機	※その他	
1月	11,171	17	34	118 (11)	2,805,774	1,441,076	156	4,247,006
2月	11,137	7	37	119 (11)	2,798,348	1,441,295	156	4,239,799
3月	11,089	8	52	125 (20)	2,786,704	1,444,068	156	4,230,928
4月	11,093	37	41	113 (12)	2,789,874	1,454,733	156	4,244,763

片本 通氏（元サミー(株)副社長）

5月29日午後4時55分死去。66歳。葬儀は6月2日、埼玉県富士見市、入間東部広域斎場しののめの里で執り行われた。喪主は妻、和代さん。サミー(株)社長時代の06年、日遊協企画教育委員会委員として、店長とメーカ間の交流セミナー実現に貢献した。

（旧・日本ヘブシコーラ販売株式会社）
TEL03・5369・0828
FAX03・5369・0866
4月1日